

平成30年度 事業実施報告【中央公民館】

居場所事業

中央公民館

重点化	№	新規	評価	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数 (人)	延べ参加 者数(人)	連 携				備考	
												学校	地域教育コ ディネーター	コミ協・自治 連・老人会	活動協力 員(人)		
1. 地域のコミュニティづくり	1		B	コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域を再認識し地域課題に基づき、地域課題に取り組む人材を育成する	1	総合	5	午前	10	41			礎コミ			
	2			お寺でゴーン！	コミュニティ協議会と連携し、地域全体で子どもの健全育成に取り組み、地域の活性化を図る											台風のため中止	
	3		B	ひよこファミリーらんどスタッフ研修会	地域の子育て支援を担う人材の育成	1	成人	2	午前	5	5					保育実施	
	4		B	湊校区コミュニティ学習会	湊校区コミュニティ協議会と連携し、地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	総合	3	午後		75	75			湊コミ		
	5			礎地域コミュニティ学習会	礎地域コミュニティ協議会と連携し、地域住民の健康づくりと地域の絆づくりに取り組む事業を実施する										礎コミ		中止
2. 学・社・民の融合	6		D	スクールコンサート(新潟小学校)	子どもの体験活動。公民館活動団体と子どもたちとの交流	1	少年	1	午後	35	35	新潟小	新潟小				
	7		B	地域みんなで防災力アップ(寄居中学校出前講座)	中学生と地域住民合同の防災講座を学校を会場として実施	1	総合	2	午後	100	199	寄居中	寄居中	礎コミ 新潟コミ			
3. 家庭教育振興	8		B	乳児期家庭教育学級(第2期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	21	91					保育実施	
	9		B	乳児期家庭教育学級(第3期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	20	85					保育実施	
	10		B	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	4	午前	21	69					保育実施	
	11		B	乳幼児期家庭教育学級休日版「シングル子育てカフェ」	シングルマザーを対象として、幼児期の家庭教育について考える	1	成人	2	午前	9	15					保育実施、母子福祉 連合会	
	12		B	乳幼児期家庭教育学級休日版「ママとパパの子育て講座」	子育て中の夫婦を対象として、幼児期の家庭教育について考える	1	成人	2	午前	40	78					保育実施	
	13		B	プレママ学級	妊娠中の親が安心して子育てができるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める	1	成人	4	午前	14	45	新潟小	新潟小				
	14		B	父親学級	父親の子育て参画を考える	1	成人	10	午前・午後・夜間	51	295						
	15		B	保育者研修会	保育者の資質向上、情報交換	1	成人	3	午前	232	217					アルザにいがた	
	16		B	中央公民館保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	午前	29	16						
	17		B	ひよこファミリーらんど	乳幼児と保護者のフリースペース	1	総合	69	午前 午後	535	535				1	ボランティアスタッフと 連携	
4. 青少年の健全育成	19		B	子ども体験教室(わたしの思い出アルバムづくり)	子どもたちに様々な体験学習などを通じて、健全育成を図る	1	少年	1	午前	14	14				1		
	20		B	子ども体験教室(木工体験バックン貯金箱)	子どもたちに様々な体験学習などを通じて、健全育成を図る	1	少年	1	午前	17	17				1		
	21		B	子ども体験教室(プログラミング体験)	子どもたちに様々な体験学習などを通じて、健全育成を図る	1	少年	1	午前	17	17				1	ITOS株式会社 CEC新潟情報サービ	
	22		B	子ども体験教室(食品サンプルでひなまつりスイーツを作ろう)	子どもたちに様々な体験学習などを通じて、健全育成を図る	1	少年	1	午前	14	14				1		
	23		B	防災キャンプ！公民館に泊まってあそBOUSAI	災害を模擬想定し、子どもたちに避難所生活を体験することで、日頃からの備えと自ら考える力を養う。	1	少年	1	午前・午後・夜間	12	12	日和山・白山・ 鏡淵・新潟	日和山・白山・ 鏡淵・新潟				
	24		B	子どもの居場所づくり	公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、地域の大人と子どもがふれあう場を提供する	1	少年	52	午後	160	160						
6. 現代的課題	25		B	ユースセミナー	20代を対象とした自己の考え方、仕事、人間関係等について考える講座	1	青年	5	夜間	10	43						
					企画会議	1	青年	2	夜間	5	5						
	26		B	クロスバルちよっと寄り道シリーズ④「夏の夜の星空講座」	公民館利用の少ない若者世代に対し、公民館利用の促進や事業参加のきっかけとする	1	青年	1	夜間	20	20				1		
	27		B	クロスバルちよっと寄り道シリーズ⑤「実用ボールペン字講座」	公民館利用の少ない若者世代に対し、公民館利用の促進や事業参加のきっかけとする	1	青年	1	夜間	17	17						
	28		B	クロスバルちよっと寄り道シリーズ⑥「酒と食のペアリングを楽しむ」	公民館利用の少ない若者世代に対し、公民館利用の促進や事業参加のきっかけとする	1	青年	1	夜間	20	20						
29		B	みんなのふれあい広場	地域の情報交換、交流の場	1	総合	23	午後	260	260				1	みんなのふれあい広 場サポーターと連携		
7. その他	30		B	文化祭	学習サークル作品展示、活動発表	1	総合	1	午前 午後	1,529	1,529					使用団体連絡協議会 と共催	
	31		B	自主グループ育成事業	団体活動の支援	1	総合	10	午前・午後・夜間	94	94						
居場所を除く合計						28		80		2,453	3,155						
居場所合計						3		144		955	955						
公民館職員研修		B	公民館職員研修	公民館職員の資質向上のため	1	成人	6	午前 午後	213	213						県公連	

令和元年度事業計画

居場所事業

中央公民館

基本施策	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		お寺でゴーン	コミュニティ協議会と連携し、地域全体で子どもの健全育成に取り組み、地域の活性化を図る	1	少年	1	
	2		コミュニティ学習会	礎地域コミュニティ協議会と連携し、地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	成人	2	
	3		コミュニティ学習会	湊校区コミュニティ協議会と連携し、地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	総合	2	
	4		ひよこファミリーらんど学級	地域の子育て支援を担う人材の育成	1	総合	2	保育実施
	5		コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域課題の把握・解決する人材の発掘・育成	1	成人	4	
2. 学・社・民の融合	6		スクールコンサート	子どもの体験活動。公民館活動団体と子どもたちの交流	1	少年	3	
	7		公民館出前型講座(新潟柳都中学校)	学校を会場とした地域住民向け公民館講座の実施	1	少年	2	
	8		地域みんなで防災力UPWIDE(寄居中学校)	学校・コミ協と連携し、地域防災について考える	1	総合	1	
3. 家庭の教育力向上	9		乳児期家庭教育学級(第3期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	保育実施
	10		乳児期家庭教育学級(第4期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	保育実施
	11		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	4	保育実施
				企画会議	1	成人	2	
	12		乳幼児期家庭教育学級休日版	平日に事業へ参加出来ない保護者などを対象として、家庭教育について考える	1	成人	2	保育実施
	13		プレママ学級	妊娠中の親が安心して子育てができるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める	1	成人	4	
				企画会議	1	成人	1	
	14		父親学級	父親の子育て参画を考える	1	成人	10	
	15		保育者研修会	保育者の資質向上、情報交換	1	成人	3	
	16		中央公民館保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	
17		ひよこファミリーらんど	乳幼児と保護者のフリースペース	1	総合	69	ボランティアスタッフと連携	
18		子育て出前学習講座	新一年生の保護者等を対象に、就学時健康診断などにおいて、講演会を実施。	1	成人	115		
19		おはよう朝ごはん講習会	料理講習会を通して、子どもたちの生活習慣づくりと地域住民が参加することによる地域の活力づくり	1	成人	1		
4. 青少年の生きる力	20		子ども体験教室①	体験学習などを通じて、異年齢、他校の児童とのコミュニケーションを図る	1	少年	1	
			子ども体験教室②	体験学習などを通じて、異年齢、他校の児童とのコミュニケーションを図る	1	少年	1	
			子ども体験教室③	体験学習などを通じて、異年齢、他校の児童とのコミュニケーションを図る	1	少年	1	
	21		避難所宿泊体験事業	防災知識の向上と子どもの体験活動および学校の異なる子ども同士の交流	1	少年	1	
		◎	NASスポーツクラブ連携事業「着衣水泳教室」	NASスポーツクラブとの包括連携協定に基づく第1号事業として、子どもの緊急時の対応を学ぶ	1	少年	1	
	22		子どもの居場所づくり	公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、安心して過ごせる居場所を提供する。	1	少年	52	
6. 現代的課題	23		ユースセミナー	コミュニケーションやワークライフバランスについて学ぶ	1	青年	5	
				企画会議	1	青年	2	
	24		活動協力員協働事業(高齢者対象事業)	高齢者が抱える課題解決に向けた講座を開催し、高齢者同士のつながりづくりを支援する	1	高齢者	2	
	25		みんなのふれあい広場	地域の情報交換、交流の場	1	総合	23	自由空間サポーターと連携
7. その他	27		文化祭	学習サークル作品展示、活動発表	1	総合	1	使用団体連絡協議会と共催
	28		自主グループ育成事業	団体活動の支援	1	総合	4	
居場所を除く合計					30		257	
居場所合計					3		76	
公民館職員研修			公民館職員の資質向上のため		1	成人	6	

平成30年度事業評価シート(中央公民館)

総事業数 (24) 1. コミュニティ(3) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(10) 4. 青少年(4) 5. 高齢者(0) 6. 現代的課題(5) 6. その他(2)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民融合による人づくり、地域づくりに資する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	3事業 地域の絆1, 人材育成2				2事業 体験活動1, 公民館型出前講座1				10事業 家庭教育学級6, その他家庭教育講座1, 親子の居場所1, 保育者交流研修2				4事業 地域活動1, 体験活動4, 居場所1							
ねらい	地域コミュニティ協議会と連携して事業を実施し、協働体制を推進する。 交流事業や地域課題に関する講座を実施することにより、顔の見える地域づくりと住民の地域課題への関心を促す。				学校・地域・公民館が協働で事業を実施することにより、地域の連携体制を推進する。特に、公民館出前型事業を実施することにより、地域に開かれた学校づくりを進める。				家庭教育学級の実施や居場所の開設により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、講座終了後等も学習の継続を支援し、子育ての不安や悩みの軽減を図る。				体験学習を通して、子どもたちの社会的成長を支援するとともに、地域住民やボランティアとの交流を図り、地域で子どもを見守り育てる体制づくりを推進する。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	—		サークル結成数	4	2	ゆりかご学級2・3期	サークル結成数	—	—					
	企画委員希望者数	/	2		企画委員希望者数	/	—		企画委員希望者数	/	43	幼児期・シングル・パパママ・フレマ・父親・ひよこファミらんど	企画委員希望者数	/	—					
	受講者の満足度(平均値)	80%	99%		受講者の満足度(平均値)	80%	92%		受講者の満足度(平均値)	80%	95%		受講者の満足度(平均値)	80%	97%	アンケート実施した5事業共、満足度は高かった。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	83%		受講者の気づき(平均値)	80%	84%		受講者の気づき(平均値)	80%	77%		受講者の気づき(平均値)	80%	—					
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/		乳児期家庭教育学級や父親学級での文集作成	その他成果(品)及びその活用等	/							
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.3	地域の実情を知り、地域の活性化に向けて必要性が高い事業である			必要性(平均値)	3.5	学校と地域の連携を推進するため、今後も取り組んでいく必要があると考える			必要性(平均値)	4.0	子育てに悩む保護者の仲間づくり、不安軽減につながっている			必要性(平均値)	4.0	子どもたちが、普段の生活ではあまり、体験できないことを親子で楽しみながら体験することができた		
	有効性(平均値)	3.0	参加者が固定化し、限定的なため、さらに幅広い世代の参加への工夫が必要			有効性(平均値)	3.0	普段は学校と繋がりのない地域住民が学校を訪れる機会となっている			有効性(平均値)	3.4	全体的に満足度は高く、受講者同士のつながりも出来ている。			有効性(平均値)	3.5	体験活動や他校の児童・大人との交流を通して子どもたちの社会的成長を支援できている		
	効率性(平均値)	4.0	コミュニティ協議会や学校、ボランティアとの協力が図られ、効率的に役割分担ができた			効率性(平均値)	4.0				効率性(平均値)	4.0	保育にかかる経費や労力は必要不可欠なものであり、その他の部分ではボランティアや他機関と連携し、効率的に運営している			効率性(平均値)	4.0	企業やボランティア等の協力により、経費・労力面で効率的に実施できている		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分							
改善点	これまで連携したことのないコミ協と新たな連携事業を検討する必要がある。また、事業の運営を担っているボランティアスタッフが限られており、増員が課題。 次年度も引き続きコミュニティ・コーディネーター育成講座を開催し、若い世代の参加者を含め増員に向けて検討する。				様々な機会をとらえ学校や地域に連携を働きかけ、事業開催を推進していく。				家庭教育については全体的に受講者の満足度は非常に高い。次年度も引き続き、平日参加出来ない人やシングルで子育てしている人が参加しやすいような講座開催を行う。 さらに自主グループ結成の呼びかけやサークルへの参加を働きかけ、自主グループの支援をしていく。				子ども体験については、アンケート結果からニーズを把握したうえで、どのような子どもの成長につながるかという観点から講座内容を検討していく必要がある。 宿泊体験事業については、対象学校を拡大して募集を行ったことから、地域団体などとの連携も含めた運営体制を再検討していく。 子どもの居場所については、軽運動室や音楽室の利用を促進するために広報を強化する。							
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
		3					1			1		10					4			
館長コメント	<館長コメント> 受講生の満足度が一番高く、課題に対応した内容になっていた。来年度も様々なコミ協等との意見交換を通してニーズを把握するとともに、講座の内容が地域の力を引き出す内容になるよう、また新しい人材を発掘内容となるよう、取組んで欲しい。				<館長コメント> 来年度も継続する寄居中学校との防災教育指定校事業については、地域・学校・公民館のそれぞれの役割分担を確認しながら、準備を進めて欲しい。				<館長コメント> 充実した内容で行われていた。 来年度も、学びたいと思う人にその機会を提供できるよう開催日時や広報の工夫を、また講座終了後も学びが継続するよう、様々な支援を行って欲しい。				<館長コメント> 改善点に記載があるよう、子どもの成長につながる内容になっているかどうかという視点をもって講座を企画して欲しい。また宿泊体験についても、記載のとおり、来年度は運営体制を見直す視点ももちながら事業を実施し、その分析を再来年度の事業実施に生かして欲しい。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業					6. 現代的課題を探り、解決する事業					
事業数						5事業	青年対象事業4, 地域の茶の間1				
ねらい						地域の茶の間を開設し、地域住民の交流促進を図るとともに、講座の実施により、生きがいづくりや社会参加を支援する。また、20代の若者の社会人としてのスキルアップや異業種間での交流を支援する。					
成果		目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント		
	サークル結成数					サークル結成数	1	0			
	企画委員希望者数					企画委員希望者数		14	ユースセミナー、クロスパルちよっと寄り道		
	受講者の満足度(平均値)					受講者の満足度(平均値)	80%	95%	ユースセミナー、クロスパルちよっと寄り道		
	受講者の気づき(平均値)					受講者の気づき(平均値)	80%	90%	ユースセミナー		
その他成果(品)及びその活用等					その他成果(品)及びその活用等						
評点		評点	コメント				評点	コメント			
	必要性(平均値)					必要性(平均値)	4.0	各世代の学習・仲間づくりの支援として必要な事業である			
	有効性(平均値)					有効性(平均値)	3.2	対象者のニーズの把握を行い、講座内容の充実を図る			
	効率性(平均値)					効率性(平均値)	3.8	活動協力員やボランティアと連携し、事業を実施する事が出来た			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					
改善点	高齢者対象の事業が実施されなかったことから、次年度から地域ニーズの把握につとめ地域団体等と連携しながら事業実施して行きたい。					青年対象事業への参加者へ、情報提供など切れ目ない声掛けを行い、公民館利用を促していく必要がある。地域の茶の間には、さらに参加者を呼び込めるよう、気軽に参加しやすい雰囲気づくりや事業実施を行う。					
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
							5				
	<館長コメント> 高齢者の社会参加を支援することは大切な取り組みであることから、来年度は関係者と意見交換等を行い、様々な取り組みを実施して欲しい。					<館長コメント> 公民館をあらゆる世代から利用していただくために、若者を対象とした事業、地域の茶の間事業とも、引き続き身近なテーマをとりあげ、新しい利用者を増やす取り組みを行って欲しい。					
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度事業実施状況【鳥屋野地区公民館】

居場所事業

重点化	No.	新規	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数	延べ参加者数	連 携					備 考	
											学校	地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会	その他	活動協力 員(人)		
1. 地域のコミュニティ活動	1		避難所体験事業	地域と連携し地域全体で子どもたちの防災対応能力の育成を行う。	1	総合	1	午後・夜間	34	34				○	○		
	2		ユースセミナー	地域における次世代を担う若手の育成。若い人に地域に目を向けてもらう。	1	青年	2	夜間	16	22							
	3		地域コミュニティ活動活性化支援事業「地域包括ケアシステム学習会」	コミュニティ協議会と連携し、地域課題解決のために必要な勉強会を行う。	1	総合	1	午前	119	119			○				
	4		子育てサロン ふらっと(未就園児向け)	親子の居場所づくり	1	総合	12	午前	357	357					○		
	5		子育てサロン まんまる(0歳児向け)	親子の居場所(0歳児)づくり	1	総合	10	午前	207	207							
	6		子育てサロンスタッフ研修	子育てサロンスタッフ対象の研修会	1	成人	1	午前	11	11							
2. 学・社・民の融合	7		上所夏まつり	上所夏まつりに出前で参加することで、学・社・民で協力しながら健全育成を図る。	1	総合	1	午後	120	120	○				○		
	8		公民館出前講座	鳥屋野まち歩き	1	総合	1	午後	20	20		○					
3. 家庭の教育力向上	9		乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)1期	乳児期の家庭教育について考える(保育あり)	1	成人	5	午前	21	94							
	10		乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)4期	乳児期の家庭教育について考える(保育あり)	1	成人	5	午前	25	114							
	11		幼児期家庭教育学級「育ちあい学級」	幼児期の家庭教育について考える(保育あり)	1	成人	5	午前	25	120							
	12		幼児期家庭教育学級休日版	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	2	午前	17	17							
	13		児童期(思春期)家庭教育学級	児童期・思春期の家庭教育について考える	1	成人	2	午前	12	12							
	14		保育者交流会	保育者との情報交換	1	成人	1	午前	13	13							
4. 青少年の生きる力	15		子ども体験事業	セミの羽化観察会 in 県庁の森	1	総合	1	夜間	57	57					○		
	16			どうぶつしょうぎ教室	1	少年	1	午後	11	11							
	17			ラジオを作ろう	1	総合	1	午後	33	33					○		
	18			ウルトラ・ウィンド(段ボールで空気砲)	1	少年	1	午後	9	9							
	19			映画上映会	2	総合	2	午前・午後	52	52							
	20		子どもの居場所づくり 小中高生フリースペース「とやの～び」	「談話コーナー」の場の提供	1	少年	50	午後	180	180					○		
	21		学習室開放事業	学習意欲のある中高生に自習室を提供	1	少年	264	午前・午後	48	148							
5. 高齢者の学習・社会参加	22		とやの長寿学級	高齢者の健康と生きがいテーマに学習機会を提供	1	高齢者	4	午後	277	277			○				
	23		活動協力員企画事業「輝け!!セカンドライフ」	シニア世代がいきいきと過ごしていくためのきっかけづくりとする。	1	高齢者	5	午後	24	106					○		
6. 現代的課題	24	◎	サークル育成事業(けんこう麻雀)	指や頭を使った健康マージャンを学び健康づくりをするとともに、仲間づくりのきっかけの場を提供する。	1	成人	4	午後	32	116							
	25	◎	〃 (フラワーアレンジメント)	フラワーアレンジメントを基本から学ぶとともに、仲間づくりのきっかけの場を提供する。	1	成人	3	午前	10	26							
	26	◎	とやの地域学	鳥屋野地域の歴史から現在の生活に至るまでの様々な鳥屋野を学ぶ。	1	成人	4	午後	30	105					○		
	27		人権講座	LGBTを題材として取り上げ、人権について学ぶ機会を設ける。	1	成人	2	午後	38	54							
	28	◎	東京オリンピック・パラリンピック機運醸成	東京オリンピック・パラリンピック開催を迎えるにあたり、海外諸国を知るとともに国際理解を進める。	1	成人	5	午後	66	66							
	29	◎	転勤・転入者向け講座「新潟いいね!」	転勤・転入者に新潟市を知ってもらうとともに、横のつながりを持つきっかけの場を提供する。	1	総合	3	午前・午後	25	57					○		
7. その他	30		文化祭	美術文芸・音楽芸能・交歓の広場、お茶席ほか	1	総合	1	午前・午後・夜間	1,750	1,750					○		
	31		自主グループ育成・支援事業	自主グループの育成・活動支援	1	総合	7		125	125							
居場所を除く合計					28		71		2,972	3,540							
居場所合計					4		336		792	892							

令和元年度事業計画

居場所事業

鳥屋野地区公民館

重点化	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		地域コミュニティ活動活性化支援事業	コミュニティ協議会と連携し、地域課題解決のために必要な研修を行う。	1	成人	1	
	2		転勤・転入者向け講座	転勤・転入者に新潟市をさらに知ってもらおうとともに、横のつながりをつくるきっかけとする。	2	総合	4	
	3		子育てサロン	親子の居場所づくり	1	総合	12	女池民協・公民館利用サークル 協力
	4		子育てサロンスタッフ研修	子育てサロンスタッフ対象の研修会	1	総合	1	
2. 学・社・民の融合	5		上所夏まつり	上所夏まつりに出前で参加することで、学・社・民で協力しながら健全育成を図る。	1	総合	1	上所小学校と共催
	6		公民館出前講座	出前講座を実施することにより、学校を身近に感じるきっかけとする。	1	成人	1	
3. 家庭の教育力向上	7		乳児期家庭教育学級 2期	乳児期の家庭教育について考える。(保育あり)	1	成人	5	
	8		児童期・思春期家庭教育学級	児童期・思春期の家庭教育について考える。	1	成人	2	
	9		保育者交流会	保育者との情報交換	1	成人	1	
4. 青少年の生きる力	10		子ども体験事業	ものづくり・野外体験	4	少年 総合	4	
	11		学習室開放事業	学習意欲のある中高生に自習室を提供する。	1	少年	260	
	12		子どもの居場所づくり・小中高生フリースペース	とやの～び「談話コーナー」の場を提供する。	1	少年	51	
	13	◎	小学生向け夏休み勉強会	夏休みに小学生が宿題など勉強する場を提供する。	1	少年	4	
5. 高齢者の学習・社会参加	14		とやの長寿学級	高齢者の健康と生きがいをテーマに学習機会を提供する。	1	高齢者	3	老人クラブ鳥屋野地区協議会と共催
	15		いきいきセミナー	シニア世代がいつまでもいきいきと過ごしていくためのきっかけづくりをする。	1	高齢者	4	
6. 現代的課題	16		とやの地域学	鳥屋野地域の歴史から現在の生活に至るまでの様々な鳥屋野を学ぶ。	1	成人	4	
	17	◎	鳥屋野潟の自然を楽しむ	市街地に隣接し、豊かな自然が残る鳥屋野潟について学ぶ。	1	総合	2	
	18	◎	サークル育成事業(映画を楽しむ)	サークル活動につながるきっかけづくりをする。	1	成人	4	
	19		東京オリンピック・パラリンピック機運醸成	東京オリンピック・パラリンピック開催を迎えるにあたり、海外諸国について学ぶとともに国際理解を深める。	5	総合	5	
7. その他	20		文化祭	美術文芸・音楽芸能・交歓の広場、お茶席ほか	1	総合	1	利用団体連絡協議会と共催
	21		自主グループ育成・支援事業	自主グループの育成・活動支援	1	総合	7	
居場所を除く合計					25		50	
居場所合計					4		327	

平成30年度事業評価シート(鳥屋野地区公民館)

総事業数(31) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(6) 4. 青少年(7) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(6) 7. その他(2)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	6事業 防災1、地域福祉1、少子化対策3、若者支援1				2事業 出前講座1, 連携イベント1				6事業 家庭教育6				7事業 体験活動5、居場所2							
ねらい	地域住民の学習・交流をととして地域コミュニティの活性化に寄与する。 また、地域コミュニティ協議会と連携して事業を実施し、地域課題への取り組みを支援する。				学校・地域・公民館が協働で事業を実施することにより、地域との連携を継続しながら、地域づくりを推進する。				家庭教育の実施や居場所の設置により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、講座終了後も学習継続を支援し、子育ての不安や悩み等を軽減する。				青少年の生きる力を育むため、青少年の体験活動や異年齢交流等を推進する。 小中高生を対象に学校や自宅以外の居場所を提供し、自由な活動や学習のスペースを、安心して享受してもらう。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	2	3	乳児期で2つ、幼児期で1つ結成	サークル結成数							
	企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数		6人	幼児期での希望者数	企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	少子化対策の子育てサロン以外の事業で実施し、高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	出前講座で実施。高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	99%	各事業とも高い満足度を得られた。	受講者の満足度(平均値)	80%	89%	体験活動講座で実施し、高い満足度を得られた。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	94%	少子化対策2事業以外で実施。	受講者の気づき(平均値)	80%		単発事業のため、アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	84%	各講座で目標値以上だった。	受講者の気づき(平均値)	80%	90%	体験活動講座の4事業で実施				
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等		ゆりかご学級の文集	2つの乳児期講座で作成し、それが自主サークル化につながった。	その他成果(品)及びその活用等								
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.8	地域にとって必要な事業となっている。			必要性(平均値)	3.5	地域と連携して実施できる事業であり、公民館としての役割をしっかりと果たすことができる。			必要性(平均値)	3.8	育児中の母親の仲間づくりや不安解消に実施していくことが望ましい。			必要性(平均値)	4.0	子ども向けに長期休暇に実施する事業は、満足度も高く継続が望ましい。また、居場所事業も多く活用されている。		
	有効性(平均値)	3.8	他機関や公民館利用団体との連携を図った。			有効性(平均値)	4.0	学校、PTAと連携し事業実施できた。また、インターンシップと協議しながら実施できた。			有効性(平均値)	3.8	子どもの年齢が上がるにつれ、その保護者の参加が少なくなる傾向にある。			有効性(平均値)	3.9	体験活動は、様々なジャンルの講座を実施しており、子ども達のニーズに対応している。		
	効率性(平均値)	3.8	企画会議の活用や他団体・他機関との連携により、効率的に運営できた。			効率性(平均値)	4.0	役割分担を事前に協議し、効率的に進めることができた。			効率性(平均値)	4.0	効率的に実施できた。			効率性(平均値)	4.0	長岡高専の出前講座を活用し、効率化を図った。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	地域の課題や要望などの情報を収集しながら、公民館として支援できるものを考えていくことが必要である。				学校、地域教育コーディネーターと情報を密にしながら、効率的で有効な事業運営をしていくことが望ましい。				当館エリアは、転勤・転入者が多いため、仲間づくりとしても有効である。児童期・思春期講座は、参加者増のためにも、昨年度のように中学校との連携を考えても良い。				子ども体験事業は好評なので、毎年度、有効性・効率性も考えながら実施していくことが望ましい。居場所事業のフリースペースは、地域の小中高生の安らげる場所となっており、引き続き周知を図っていく必要がある。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		6				2				6				7						
館長評価	<コメント> さらに地域、他機関・他団体との連携を模索し、地域づくりの一助となる事業となるように努めていきたい。				<コメント> 学・社・民の融合は、教育委員会・公民館で重視している事業である。さらに地域の力を引き出しながら事業を進めていきたい。				<コメント> 必要な講座だが、保育付き事業は、予算・人員を多く投入する事業であり、今後、実施手法・回数などの見直しも考えていく必要がある。				<コメント> 子ども体験事業は、ニーズも大きく、経費を大きくかけずに実施できる事業であり、継続していくことが望ましい。居場所づくりのフリースペースは、地域の小中高生の放課後過ごせる場として有効であり、継続していくことが望ましい。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2事業 生きがづくり2				6事業 人権講座1、地域学1、サークル育成2 その他2			
ねらい	高齢者の健康寿命の延伸や生きがづくりを支援する。また、事業を通して仲間づくりを図り、地域活動につなげる。				当地域に多い転勤・転入者向けの講座や地域を知る地域学などの講座により、地域ニーズに対応する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	1	0	満足度は高かったが、サークル化には至らなかった。	サークル結成数	2	2	サークル育成事業それぞれで結成することができた。
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	各事業とも高い満足度を得られた。	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	各事業とも高い満足度を得られた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	70%		受講者の気づき(平均値)	80%	77%	4つの講座は、目標値以上だった。
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	高齢者の健康・生きがづくりは市の重点施策のため、必要度は高い。		必要性(平均値)	3.5	現代的課題をとらえ、学習機会を考えて、新たな受講者層を若干発掘できた。	
	有効性(平均値)	3.5	内容を盛り込みすぎたものやニーズに合致しないものがあった。		有効性(平均値)	3.7	企画委員と協議し、内容を検討できた。また、農家の方が作っている集まりと連携して事業実施できた。	
	効率性(平均値)	4.0	無料の講師派遣などにより、効率化を図った。		効率性(平均値)	4.0	市のバスを利用するなど効率的に実施できた。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者の健康づくりや生きがづくりは、市の重点施策となっており、今後も、他団体などと連携しながら、有効性・効率性を考えながら実施していくことが望ましい。				「自然と環境」の講座を衣替えて実施した「とやの地域学」は好評だった。企画委員から、様々な話題を提案してもらい、地域の魅力を発信していけるとよいと思う。転勤・転入者向け講座は、忙しい人もおり、3回連続とするのが良いか、検討する必要がある。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				6		
	<コメント> 公民館事業に目を向ける高齢者のニーズに合う事業を、さまざまな情報をとらえながら企画していくことが必要である。				<コメント> 地区館として、地域情報を発信するとともに、現代的課題・地域的課題をとらえながら、事業を企画していくことが必要である。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度事業実施状況【東地区公民館】

居場所事業

重点化	№	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数	延べ参加者数	連 携				備考	
											学校	地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会	その他		活動協 力員
1. 地域のコミュニティ活動	1		江東コミュニティ研修会	コミュニティ協議会と連携し、地域課題の解決法を探るための先進地視察や研修(東出張所と共催)	1	成人	2	午前・午後	30	59			○			
	2		お寺でゴーオン	地域全体で取り組む子どもの健全育成	1	少年	2	午前・午後・夜間	14	28			○		○	
				企画会議	1	成人	4	午後	8	20						
3			地域学振興事業	地域の歴史等をおし地域課題を学び、地域づくりへ	1	成人	1	午後	104	104					○	
2. 学・社・民の融合	4			家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (沼垂小学校)	1	成人	1	午後	60	60	○	○				保育実施(利用者なし)
				企画会議	1	成人	2	夜間	15	30						
	5		家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (笹口小学校)	2	成人	2	午後	149	149	○	○				
				企画会議	2	成人	1	午前	2	2						
	6			家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (万代長嶺小学校)	1	成人	1	午前	39	39	○	○				○
				企画会議	1	成人	1	午後	2	2						
	7			子育て広場「けやきのもり」	子育て支援活動地域小学校出前型	1	総合	6	午前	50	123			○	○	○
8			子ども環境教育推進事業	学校、地域と連携した環境学習	1	少年	1	午前	49	49	○	○				
9			中高年パソコン体験教室	初めてのパソコンを楽しみながら学ぶ	1	成人	1	午前	9	9	○	○				
3. 家庭の教育力向上	10		乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	7	午前	20	120					○	保育実施 保健福祉センター・図書館と連携
	11		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	22	88					○	保育実施 児童発達支援センターと連携
				企画会議	1	成人	5	午前	3	15						
	12	◎		幼児期家庭教育学級 土曜日版	ふれあい遊びを通じて、親子の関わり方について学ぶ	1	総合	4	午前	56	100			○		子育てサポーターと連携
	13			子育てサロン	子育ての情報交換と交流	1	総合	41	午前	472	472			○	○	○
14			保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	午前	11	11						
4. 青少年の生きる力	15		キッズ・サイエンス	科学への興味・関心を喚起	5	少年	5	午前・午後	59	69						○
				企画会議	5	成人	4	午前	3	10						
	16		わくわくキッズ	体験活動を通して自ら考える力を養うとともに、異年齢交流や仲間づくりを図る。	1	少年	1	午前・午後	11	11						○
				企画会議	1	成人	3	午前・午後	3	8						
	17		青少年の居場所づくり事業 夏休みイベント	長期休み期間を公民館で過ごしてもらうきっかけをつくる	1	総合	6	午前・午後	74	74						○
				企画会議	1	成人	5	午前・午後	3	8						
18		青少年の居場所づくり事業 小・中・高生のフリースペース	青少年の居場所づくり事業 冬休みイベント	1	総合	1	午前	24	24							
			青少年の居場所づくり事業 小・中・高生の放課後の居場所づくり	1	少年	347	午前・午後	1,273	1,273						○	
19			青少年の居場所づくり事業 中・高生の学習室	中・高生の放課後の学習室	1	少年	344	午前・午後	77	77						○
5. 高齢者の学習・社会参加	20		セカンドライフセミナー	高齢者の社会参加の機会により、課題解決に向けての意識付けや再認識の共有化を図る	1	高齢者	4	午後	37	101						○
				企画会議	1	成人	4	午前	3	12						
	21		団塊世代対象事業	自立可能な、また、主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る	1	成人	4	午後	208	208					○	民間団体(サイエンスカフェにいがた)と連携
				企画会議	1	成人	3	午前・午後	6	15						
22	◎		大人の文化講座	高齢者の生活を豊かにするため、日常生活の中の文化を考え、知識や技能を習得する。	1	成人	2	午後	54	66						
6. 現代的課題	23	◎	地域活性化支援事業	現代社会の抱える問題について考え、地域活性化に生かすための知識を習得する	1	成人	2	夜間	31	42					○	民間団体(なじらね沼垂)と連携
				企画会議	1	成人	2	午後	2	3						
7. その他	24		文化祭	利用団体の学習成果の発表と団体相互の親睦を図る(利用団体連絡協議会と共催)	1	総合	5	午前・午後	932	932					○	○
	25		グループ活性化事業 サークル見学・体験会	公民館利用グループでの体験教室	1	総合	32	午前・午後・夜間	268	268						
	26		自主グループ育成事業	自主グループの育成及び支援	1	総合	6	午後	41	41					○	仏像彫刻界・マジック同好会・食推
居場所を除く合計					45		136		2,402	2,900						
居場所合計					3		732		1,822	1,822						

令和元年度事業計画

居場所事業

東地区公民館

重点化	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		江東コミュニティ研修会	コミュニティ協議会と連携し、地域課題の解決法を探るための先進地視察や研修(東出張所と共催)	1	成人	2	江東地区コミュニティ連絡協議会と連携
	2		お寺でゴーン	地域全体で取り組む子どもの健全育成	1	少年	1	沼垂小学校区コミ協と連携
				企画会議	1	成人	4	
3		地域学振興事業	地域の歴史等をおし地域課題を学び、地域づくりへ	1	成人	1		
2. 学・社・民の融合	4	◎	家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(PTAと共催) (沼垂小学校)	1	成人	1	保育実施
				企画会議	1	成人	2	
	5		子育て広場「けやきのもり」	子育て支援活動地域小学校出前型	1	総合	6	笹口地区民児協、ボランティアスタッフと連携
	6		小学校地域学習事業	学校と連携して自然や住環境、地域づくりを学ぶ	1	少年	1	
7		中学校出前事業	講座を通して地域住民と生徒との交流を図る	1	成人	1		
3. 家庭の教育力向上	8		乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	7	保育実施 東地域保健センター、中央図書館と連携
	9		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	5	保育実施 中央図書館と連携
				企画会議	1	成人	5	
	10		幼児期家庭教育学級 土曜日版	ふれあい遊びを通じて、親と子の関わり方について学ぶ	1	総合	4	
	11		子育てサロン	子育ての情報交換と交流	1	総合	40	ボランティアスタッフ、絵本を楽しむ会、万代長嶺地区民児協、東地域保健福祉センターと連携
12		保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1		
4. 青少年の生きる力	13		キッズ・サイエンス	科学への興味・関心を喚起	3	少年	3	
				企画会議	3	成人	3	
	14		わくわくキッズ	体験活動を通して自ら考える力を養うとともに、異年齢交流や仲間づくりを図る。	1	少年	1	
				企画会議	1	成人	2	
	15		青少年の居場所づくり事業 夏休みイベント	長期休み期間を公民館で過ごしてもらうきっかけをつくる	1	総合	6	
				企画会議	1	成人	3	
			青少年の居場所づくり事業 冬休みイベント	長期休み期間を公民館で過ごしてもらうきっかけをつくる	1	総合	1	
16		青少年の居場所づくり事業 小・中・高生のフリースペース	小・中・高生の放課後の居場所づくり	1	少年	348		
17		青少年の居場所づくり事業 中・高生の学習室	中・高生の放課後の学習室	1	少年	345		
5. 高齢者の学習・社会参加	18		団塊世代対象事業	自立可能な、また、主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る	1	成人	4	民間団体と連携
				企画会議	1	成人	3	
	19		大人の文化講座	高齢者の生活を豊かなものにするため、日常生活の中の文化を考え、知識や技能を習得する。	2	成人	2	
6. 現代的課題	20		地域活性化支援事業	現代社会の抱える問題について考え、地域活性化に生かすための知識を習得する	1	成人	1	
				企画会議	1	成人	2	
7. その他	21		文化祭	利用団体の学習成果の発表と団体相互の親睦を図る (利用団体連絡協議会と共催)	1	総合	5	利用団体連絡協議会と共催
	22		グループ活性化事業 サークル見学・体験会	公民館利用グループでの体験教室	1	総合	20	
	23		自主グループ育成事業	自主グループの育成及び支援	1	総合	4	
居場所を除く合計					34		101	
居場所合計					3		733	

平成30年度事業評価シート(東地区公民館)

総事業数(29) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民(7) 3. 家庭教育(4) 4. 青少年(6) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(1) 7. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	3事業 江東コミュニティ研修会, お寺でゴーン, 地域学振興事業				6事業 家庭教育学習会3, 子育て広場「けやきのもり」, 子ども環境教育推進, 中高校パソコン教室				5事業 乳児期家庭教育学級, 幼児期家庭教育学級, 幼児期家庭教育学級土曜日版, 子育てサロン, 保育者交流会				5事業 キッズサイエンス, わくわくキッズ, 青少年の居場所づくり事業3,			
ねらい	1. コミュニティ協議会と共催し, 集団での体験活動とおし基本的な生活習慣・社会性を身につける 2. 地域の歴史や文化など地域の魅力の発見から地域づくりの活動につなげ, 地域の活性化を図る				1. 学校・PTA・公民館の連携強化により, 地域全体の教育力向上につなげる 2. 学校, 家庭, 地域と公民館の連携により相互の果たす役割と協働のあり方を学ぶ				1. 子育ての育児不安の軽減と仲間づくりを進める 2. 子育て支援ボランティアの育成を図る				1. 体験活動を行い, 知的好奇心を育み, 創造力豊かな子どもを育てる 2. 子ども同士の交流, 子どもと大人(指導者・学生)の交流の場とし, 相互理解を図る 3. 子どもが自ら遊び方を工夫することで, 考える力を養う			
成果	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	1	1		サークル結成数			
	企画委員希望者数		7	活動協力員, 地域ボランティアとの企画会議を実施	企画委員希望者数		20	活動協力員, ボランティアとの企画会議を実施	企画委員希望者数		5	活動協力員や子育て支援ボランティア等との企画会議を実施	企画委員希望者数		17	活動協力員や地域ボランティアとの企画会議を実施
	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	寺ゴンでは100%の満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	85%	子育てでの気付きや不安・悩みの解消につながった。	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	話し合い, 悩みを共有し合うことにより高い満足度を得た。	受講者の満足度(平均値)	80%	98%	子ども同士または大人のスタッフや学生との交流を深めた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	96%	地域への理解を深め, 魅力の再発見を促した。	受講者の気づき(平均値)	80%	75%	子どもと向き合う姿勢や親の学びの大切さについての気づきがあった。	受講者の気づき(平均値)	80%	85%	子どもと向き合う姿勢や親の学びの大切さについての気づきがあった。	受講者の気づき(平均値)	80%	87%	体験学習や実験により, 子どもたちの興味を深めることができた。
	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			
評点		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	地域への理解を深め, 地域課題を考える事業として必要。		必要性(平均値)	3.8	地域の子どもの育ちを社会で支援する事業として必要。		必要性(平均値)	4.0	育児不安の軽減, 仲間づくりのために必要である。		必要性(平均値)	4.0	子どもたちに学びへの興味を喚起することに寄与している。	
	有効性(平均値)	4.0	地域住民や関係団体との連携により有効な事業展開が出来た。		有効性(平均値)	3.7	学校やPTA, コーディネーター, コミ協や民児協などと連携して事業を運営		有効性(平均値)	4.0	企画委員と相談しながら各回の運営方法や講師選定の工夫をした。		有効性(平均値)	3.2	地域住民や専門学校・大学生などとの連携が図られた。	
	効率性(平均値)	4.0	ボランティアを活用し経費負担を抑え事業を効率的に運営できた。		効率性(平均値)	4.0	PTA学年行事やふれあいスクールの中で行うなど運営に工夫をした。		効率性(平均値)	4.0	限られた経費で適切な講師選定が出来た。		効率性(平均値)	3.6	講師・スタッフ・ボランティアの協力により効果的に運営できた。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	「お寺でゴーン」については参加条件が少し厳しめで, 例年より参加者が少なかったため, 募集条件の精査が必要。「地域学講演会」は過去の受講者アンケートでテーブルの要望があったため今回用意したが, 100人規模で対応するためには他の部屋から不足分を運ばねばならず, 職員の負担が重かったため, やり方を検討したい				家庭教育学習会は各学校により運営方法が違うため, 学校やPTAの事情に合わせた企画となるようにし, 事前の段取りを再度お互いに確認するなど留意する。パソコン教室は年々参加者が減少しており, 来年度は事業のやり方を見直すか, パソコン以外のテーマで中学校との連携を企画するなど一考が必要。				子育てサロンサポーターの減少・高齢化が課題となっているため, 新規獲得が課題。ゆりかごは受講者の事情やニーズが多様化しており, できる限りそれを反映したプログラム作りが必要。				キッズサイエンスは調理実習ものと工作もののプログラムに分かれるが, テーマがマンネリ化しないよう留意することが必要。わくわくキッズは探検隊と統合した初年度であり, 訪問先も新規施設であったため手探り状態であった。来年度はより練った企画としたい。			
館長評価		B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		3				6				5				5		
	<コメント> 地域住民や関係団体と連携し, 今後も地域に密着した事業を展開したい。お寺でゴーンは東地区公民館を代表する事業であるため, 来年度は参加者増を目指したい。				<コメント> パソコン教室は中学生が大人を教えるという貴重な体験ができる事業として, 中学校の先生からも高い評価をいただいている。家庭教育学習会は出前型事業として各小学校に定着しており, 今後も学校やコーディネーターと連携して様々なプログラムを提供したい。				<コメント> ゆりかごは, 受講者のニーズや事情が多様化している中, 受講者の満足度も高く, 公民館事業の柱として今後も事業を展開していく。また, 保育者やサロンサポーターは公民館事業を支える大切なスタッフであり, 獲得と育成が必須。				<コメント> キッズサイエンスは東地区公民館の特徴的な事業として定着している。こういった子ども体験事業を通じて, 今後も子どもたちの知的好奇心と想像力を育むプログラムを提供したい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	3事業		セカンドライフセミナー、団塊世代対象事業、大人の文化講座		1事業		地域活性化支援事業	
ねらい	1. 高齢者の学習意欲を喚起し、社会参加や今後の生き方を考える。 2. 団塊世代に対し、自立可能な、また主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る。 3. 高齢者の生活を豊かにするため、日常生活における文化を考え、知識や技能を習得する。				1. 地域の人たちが、なぜこの沼垂という地域を大切にしているのか、その中で物作りをし、自ら発信していく思いを聞き、地域の魅力に触れる機会とする。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数		11	活動協力員、地域ボランティア等との会議を実施	企画委員希望者数		4	活動協力員や地域ボランティアとの企画会議を実施。
	受講者の満足度(平均値)	80%	92%	興味深いテーマを講師が分かりやすく解説し高い満足度を得た。	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	地域の魅力の再認識を促すことができた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	82%	高齢者に関わる課題を考え、どう対応していくか考えることができた。	受講者の気づき(平均値)	80%	88%	今まで知らなかった地元の良さに気づくことができた。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	高齢者の知的好奇心を満足させ、仲間づくりを図るため必要。		必要性(平均値)	4.0	地域に出かけ、地域住民から話を聞く講座として評価できる。	
	有効性(平均値)	3.5	受講者のニーズに沿ったプログラムを提供できた。		有効性(平均値)	4.0	NPO法人と協力して企画し、連携が図られた。	
	効率性(平均値)	4.0	限られた予算の中で、講座の質の高さを維持できた。		効率性(平均値)	2.0	事業内容が煮詰まらず広報が遅れ、参加者募集に苦労した。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	団塊世代対象事業「サイエンスカフェ」は毎回多角的な側面から科学を考える講座として人気が高い。専門性の高い内容であるため、講師によって一般の人にわかりづらい講座となってしまう場合もある。その辺りを講師との事前打ち合わせでどれだけすり合わせできるかが課題。				当初企画が一度倒れ、再度練り直すといった手間が生じるなど、企画に難航したが、NPO法人から協力をいただき無事に開催できた。次年度は早めにスタートすることが必須であるとともに、地域との連携をこれまでに深めたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2		1		1		
	<コメント>セカンドライフセミナーは講座内容も良く好評であったが、中央区健康福祉課からの予算が打ち切られたため、来年度は残念ながら事業廃止となる。セカンドライフ事業の対象者に対しては、既存事業の内容充実で対応したい。				<コメント> 企画が遅れたため集客には苦戦したが、参加者からは好評を得た。地元NPO法人との連携も、公民館が地域に出かけて行けばこそ実現できたので、次年度も積極的に地域に出かけ、新しいテーマを設定して取り組んでほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度事業実施状況【関屋地区公民館】

居場所事業

重点化	№	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数	延べ参加者数	連 携					備考	
											学校	地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会	その他	活動協 力員		
1. 地域のコミュニティ活動	1		おも知ろ関屋学	住民自らの地域研究をとおして地域の歴史を学ぶ	1	成人	8	午後	40	205					2		
				企画会議	1	成人	7	午後	11	56							
	2		森のコンサート	地域の中で音楽をとおして交流する	1	総合	1	午前	135	135	○		○	○	1	念仏寺	
	3		お寺でゴォ〜ン!	地域と連携し、社会全体で子どもの望ましい基本的な生活習慣の育成や家庭教育への意識啓発を図る	1	総合	1	午後	20	20			○	○	2	念仏寺	
2. 学・社・民の融合	4		あかちゃんお誕生おめでとう	地域と一体となり安心して子育てできる環境をつくる	1	総合	2	午前	30	30				○			
	5		チャレンジゼミ	小学校と利用団体と公民館の共催で体験学習を実施	1	少年	1	午前	36	36	○				○		
3. 家庭の教育力の向上	6		世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流	1	総合	1	午後	48	48	○				○		
	7		乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)	乳児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	5	午前	19	84						保育実施	
	8		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	3	午前	16	44						保育実施	
	9		子育てネットまつぼっくり	子育て交流や情報交換を行う	1	総合	50	午前	480	480							
4. 青少年の生きる力	10		わくわくランド	小学生が体験活動をとおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	5	午前	32	124					1		
	11		将棋クラブ	小学生が将棋をとおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	19	午前	25	208					○		
	12		文字と書道に親しもう	ふだん使っている文字(漢字・ひらがな)の成り立ちや意味などを考え、書道の楽しさを知る	1	少年	2	午前	18	34							
	13		夏休み子ども体験教室	簡単な工作を体験し、ものづくりの楽しさを味わう	3	少年	3	午前	68	68							
	14		冬休み子ども映画会	長期休みに映画を楽しんでもらう	1	少年	1	午前	59	59						2	
	15		公民館に泊まって あそぼうさい	災害に関する知識を学び、防災意識を育む	1	少年	1	午前・午後・夜間	10	10				○			
	16		座・オアシス	小中高生の放課後や休日の居場所	1	少年	343	午前・午後・夜間	4,802	4,802							
17		学習室開放事業	中高生の学習室	1	少年	110	午前・午後・夜間	1,094	1,094								
5. 高齢者の学習・社会参加	18		さわやか学級	高齢者の生きがいづくりや仲間づくりを行う	1	高齢者	5	午前	38	152							
	19		ほがらか学級	健康で幸せなシニアライフに必要な知識、情報を楽しく学ぶ	1	高齢者	5	午前	45	196							
6. 現代的課題	20		囲碁入門教室	囲碁の基礎を学びながら、地域の大人と子どもの交流を図る	1	総合	19	午前	15	272					○		
	21		関屋モーニングサロン	市民による講座の企画・運営と講座の開催	1	成人	7	午前	120	765							
				企画会議	1	成人	13	午後	9	112							
22		健康公開講座	健康についての知識を身につける	1	総合	1	午後	24	24	○							
7. その他	23		初級登山教室	安全で楽しい登山のため、知識・技能を習得する	1	成人	6	夜間	21	105					○		
				企画会議	1	成人	2	夜間	8	32							
	24		関屋おも知ろまち歩き	活動協力員との事業企画・実施	1	成人	1	午前	7	7					○		
				企画会議	1	成人	3	午後	6	16						活動協力員事業	
	25		自主サークル育成・支援事業	サークルの育成及び活動支援	1	総合	11	午前・午後	25	25					○		
26		文化祭	利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地域住民との交流を図る	1	総合	1	午前・午後	1,004	1,004					○			
居場所を除く合計					29		134		1,889	3,871							
居場所合計					3		503		6,376	6,376							

令和元年度事業計画

居場所事業

関屋地区公民館

重点化	No.	新規	事業名	事業の目的	開設数	対象	回数	備考
1. 地域のコミュニティ活動	1		おも知ろ関屋学	住民自らの地域研究をとおして地域の歴史を学ぶ	1	成人	8	
			企画会議		1	成人	4	
	2		森のコンサート	地域の中で音楽をとおして交流する	1	総合	1	関屋中学校・利用団体・念佛寺
	3		お寺でゴ～ン!	地域と連携し、社会全体で子どもの望ましい基本的生活習慣の育成や家庭教育への意識啓発を図る	1	総合	1	念仏寺・浜浦小コミ協
2. 学・社・民の融合	4		あかちゃんお誕生おめでとう	地域と一体となり安心して子育てできる環境をつくる	1	総合	2	浜浦小コミ協・浜浦民児協と連携
	5		チャレンジゼミ	小学校と利用団体と公民館の共催で体験学習を実施	1	少年	1	利用団体と連携
3. 家庭の教育力の向上	6		世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流	1	総合	1	関屋中学校・利用団体
	7		乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	5	保育実施
	8		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	3	保育実施
企画会議				1	成人	1	保育実施	
	9		子育てネットまつぼっくり	子育て交流や情報交換を行う	1	総合	49	
4. 青少年の生きる力	10		わくわくランド	小学生が体験活動をとおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	5	利用団体と連携
			企画会議		1	少年	3	利用団体と連携
	11		将棋クラブ	小学生が将棋をとおして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	19	
	12		文字と書道に親しもう	ふだん使っている文字(漢字・ひらがな)の成り立ちや意味などを考え、書道の楽しさを知る	1	少年	2	
	13		夏休みこども体験教室	簡単な工作を体験し、ものづくりの楽しさを味わう	1	少年	3	
	14		子ども映画会	長期休みに映画を楽しんでもらう	1	少年	1	
			避難所宿泊体験	災害に関する知識を学び、防災意識を育む	1	少年	1	
				企画会議		1	成人	2
16		座・オアシス	小中高生の放課後や休日の居場所	1	少年	343		
17		学習室開放事業	中高生の学習室	1	少年	60		
5. 高齢者の学習・社会参加	18		ほがらか学級	健康で幸せなシニアライフに必要な知識、情報を楽しく学ぶ	1	高齢者	5	
6. 現代的課題	19		囲碁入門教室	囲碁の基礎を学びながら、地域の大人と子どもの交流を図る	1	総合	19	
	20		関屋モーニングサロン	市民による講座の企画・運営と講座の開催	1	成人	7	
			企画会議		1	成人	15	
21		大学健康公開講座	健康についての知識を身につける	1	総合	1		
7. その他	22		初級登山教室	安全で楽しい登山のため、知識・技能を習得する	1	成人	6	利用団体と連携
			企画会議		1	成人	4	
	23		公民館活動協力員との協働事業	活動協力員との事業企画・実施	1	成人	1	
			企画会議		1	成人	5	
	24		自主サークル育成・支援事業	サークルの育成及び活動支援	1	総合	8	利用団体と連携
25		文化祭	利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地域住民との交流を図る	1	総合	1	利用団体と連携	
居場所を除く合計					29		135	
居場所合計					3		452	

平成30年度事業評価シート(関屋地区公民館)

総事業数(27) 1. コミュニティ(4) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(3) 4. 青少年(8) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(3) 7. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	4事業		地域振興2・児童健全育成1・子育て1		2事業		児童健全育成1・世代間交流1		3事業		家庭教育学級2・居場所1		8事業		体験活動5・居場所2	
ねらい	地域住民に, 地域の歴史, 文化, 課題などの学習機会を提供することで郷土愛を育て, 地域課題に取り組む人材や団体を育成支援する。また地域住民の交流を図り, 青少年の健全育成と子育て支援に取り組む。				学校, 公民館利用団体などと連携, 協力して, それぞれの役割の中でできることを分担して事業を行うことで, 地域住民の交流促進と住み心地のよい地域づくりに貢献する。				家庭教育の自主性を尊重しながら, 学習の機会, 情報, 交流の場を提供することで, 家庭教育を支援する。				青少年の体験活動や, 異年齢交流などにより, 青少年や子どもの健全育成を図る。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	—	
	企画委員希望者数		11	「おも知る関屋学」を企画委員の協力のもと運営	企画委員希望者数		0		企画委員希望者数		1		企画委員希望者数		4	
	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	「おも知る関屋学」「お寺でゴー」で評価を得た	受講者の満足度(平均値)	80%	—	単発での体験講座のためアンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	88%	多くの受講者から満足いただいた。	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	あそぼうさいで高い評価を得た
	受講者の気づき(平均値)	80%	79%	概ね目標値を達成	受講者の気づき(平均値)	80%	—	単発での体験講座のためアンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	88%	「乳児期」で高い数値をえることができた	受講者の気づき(平均値)	80%	81%	概ね目標値を達成
その他成果(品)及びその活用等		企画委員を講師として派遣	地元小中学校から企画委員の講師派遣依頼があった。	その他成果(品)及びその活用等		公民館利用団体から講師を派遣	学校と公民館が連携し, 参加者, 利用団体双方の交流促進の機会にできた。	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	地域の実情を知り, 地域の活性化に必要性が高い事業となっている。		必要性(平均値)	4	学校と公民館の連携を強化する面からも必要な事業である。		必要性(平均値)	4	子育て中の親子にとって必要な事業となっている。		必要性(平均値)	4	家庭や学校では経験できない講座内容のため必要性は高い。	
	有効性(平均値)	4	地域との連携により, 相互理解が深まり, 人材の育成にもつながった。		有効性(平均値)	4	学校, 地域教育コーディネーター, 公民館利用団体と連携が図れた。		有効性(平均値)	4	幼児期において新たなサークル結成につなげることができた。		有効性(平均値)	3.9	様々な体験活動や他校児童・大人との交流による子どもの健全育成の場として有効性が高い。	
	効率性(平均値)	4	活動協力員との連携により効率的な運営ができた。		効率性(平均値)	4	学校との調整をコーディネーターに依頼したことにより効率よく進められた。		効率性(平均値)	4	市の施設に講師依頼を行い, 事業の効率性に努めた。		効率性(平均値)	3.9	ボランティア講師をできるだけ活用し, 事業費削減に努めた。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	講座内容は好評なのでこれをベースに継続し, より多くの方から参加していただけるよう, 様々な媒体を活用した広報活動等に取り組みたい。				学校との共催であるため, 予定がなかなか立てられなかったり, 制約も多いが, 継続することで信頼関係の構築を図りたい。				講座終了後も, 参加者が安心して子育てできるように, 他機関との連携を強化しながら, 自主サークルを支援していきたい。 企画会議等で参加者のニーズの把握に努めていきたい。				体験活動については, 大学や利用団体との連携が重要であることから, 今年度の反省点を踏まえながら十分な事前打合せを行い, より良い事業を展開していきたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		4				2				3				8		
評価区分	<コメント> 地域の絆, 愛着を深めることに一定の成果をあげている。一部事業は参加募集対象地域を拡大してより多くの方から参加していただけるように改善し, 継続して取り組みたい。				<コメント> 小学校, 中学校, 公民館利用団体と協力して事業が行われており評価できる。今後も継続することで参加者にとってより良い事業としていきたい。				<コメント> 現代社会において, 家庭教育支援の必要性は非常に高く, 地域からの要望も強いことから, 有効性, 効率性に留意しながら継続したい。				<コメント> 様々な体験をとおり, 他校, 他学年と交流する場になっており, 地域の子どもの健全育成を図るうえで必要な事業である。			
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2事業	高齢者事業2			3事業	世代間交流1・教養講座2		
ねらい	高齢者の交流促進を図るとともに、講座の実施により、生きがいづくりや社会参加を支援する。				企画委員、地域住民とともに現代的課題を考え、そのテーマに沿った講演会、学習会を開催することにより現代的課題の解決を図る。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	—	
	企画委員希望者数		0	企画委員の積極的募集と活用に努めたい。	企画委員希望者数		8	「関屋モーニングサロン」は企画委員により運営・開催している。
	受講者の満足度(平均値)	80%	91%	受講者からは概ね満足していただいた。	受講者の満足度(平均値)	80%	91%	「関屋モーニングサロン」では評価を得ている
	受講者の気づき(平均値)	80%	72%		受講者の気づき(平均値)	80%	—	
その他成果(品)及びその活用等		高齢者のネットワークづくり	高齢者の生きがいづくりだけでなく仲間づくりの場にもなっている。	その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	定員を上回る応募があり、地域住民にとって必要な事業である。		必要性(平均値)	4	モーニングサロンは定員を上回る応募があり、地域に定着している。	
	有効性(平均値)	4	他機関、活動協力員と連携が図られていて適切である。		有効性(平均値)	4	他機関、活動協力員と連携が図られていて適切である。	
効率性(平均値)	4	区健康福祉課との連携により効率的な運営ができています。		効率性(平均値)	4	大学との共催や無償講師をできるだけ選定するなどして事業費の効率化に取り組んだ。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	講座に一定の評価をいただけたと思う。今後も地域の高齢者に必要な情報を提供するため、効率的な運営に努めたい。				モーニングサロンの企画・運営体制の拡充			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				3		
	<コメント> 毎年、高齢者のより良い暮らしに有用で興味あるテーマを選び、講座を提供することはなかなか難しいが、健康で幸せな高齢社会とするため不可欠な講座であることから、予算のない中で講師を確保して今後も継続して講座を開催したい。				<コメント> 他機関、活動協力員、企画委員と連携して事業運営し、広く様々な市民の意見を講座内容に反映させることができた。「関屋モーニングサロン」では各世代の参加があるよう運営に留意したい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止